

Fusyo Collaboration letter

4月 30日 No.4 文責 廣田 秀俊



大分市のことをもっと知ろう！

3年生の社会の時間です。大分市のまちの様子を資料で調べたり、地図や写真を見てその土地のことを予想したりして、みんなで学びを深めています。海に面している地域や田畑のある地域も学習しました。



先週は“山や古いものがのこる地域には、どのような特徴があるのだろうか”の課題を追求していきました。今回この地域で取り上げたのは野津原地域です。

昨年度まで野津原小学校にいた校長をゲストで迎えてもらい、そこで少しだけ野津原地域のことを話していきました。



「20年ほど前に大分市の仲間入りをした野津原。自然に囲まれ、柿やブルーベリー、お米の“なつほのか”など、たくさんの食物が収穫できます。自然の家では登山活動も出来ます。のつはるダムができ、道の駅に多くの人が訪れ、山の上の天空の広場では、のつはるのお祭りも開催されています。

歴史を語るものもたくさん残り、丸山神社や今市の石畳は、貴重な文化財として残されています。神楽の踊りもあります。緑が豊かな場所なので動物たちも住んでいて、学校にアナグマが来ることもあります。」



3年生が予想した、山が多く古いものがのこる場所のイメージと同じ部分もあり、納得顔の子どもたちがいました。ちょっと違うことを予想していた子もいましたが、「もっと調べてみたい」「実際に行ってみたい！」などの声もあがり、学習をさらに発展させようとしていました。



授業の終わりには、それぞれのクラスで子どもたちの声をもとに、「山が多く古いものが残る地域の特徴」を考え、ノートにまとめていきました。

“伝統的なものを残し、自然と食が豊かな特徴がある”

“自然が豊かで伝説や歴史を伝えるものが残っていて、みんなに伝えているような特徴がある”

“自然が豊かで、いろんな歴史を残し大事にしているという特徴がある”

まだまだ学びは深まっていきそうです。

